

家畜栄養

講師名	山口 直己	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての勤務経験を活かし、家畜を正しく飼養し、健康を維持しながら生産性を向上させるための知識を習得するための講義を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・共通	必修	1	前期	30	2
使用教科書・副教材	乳牛栄養学の基礎と応用(編著:増子孝義ら 発行:(株)デーリィ・ジャパン)					
授業の目的	家畜を正しく飼養し、健康を維持しながら生産性を向上させるための知識を習得する。					
授業の到達目標	栄養素の種類、特徴および役割を理解するとともに、反芻動物(ウシ)の消化・吸収および代謝の特徴に応じた飼料給与が行える。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月20日	授業説明 栄養学の基礎	授業概要を理解し、家畜栄養学とは何かを学ぶ	2	講義	
4月28日	栄養と栄養素	飼料の化学成分について学ぶ	2	講義	
4月30日	"	飼料の消化と吸収について学ぶ	2	講義	
5月7日	炭水化物	炭水化物の分類について学ぶ	2	講義	
5月11日	"	炭水化物の分解・発酵・吸収・利用について学ぶ	2	講義	
5月13日	蛋白質とアミノ酸	蛋白質の分類、アミノ酸について学ぶ	2	講義	
6月1日	"	ルーメン内における蛋白質の分解について認識する	2	講義	
6月9日	脂質	脂質の分類について学ぶ	2	講義	
6月11日	"	ルーメンにおける脂質代謝について認識する	2	講義	
6月23日	ミネラル	ミネラルの種類、役割、代謝について学ぶ	2	講義	
7月3日	"	ミネラル栄養の問題点について学ぶ	2	講義	
7月16日	ビタミン	ビタミンの種類、役割、代謝について学ぶ	2	講義	
8月18日	"	ビタミン栄養の問題点について学ぶ	2	講義	
8月24日	栄養障害と代謝病	栄養障害と代謝病について学ぶ	2	講義	
8月27日	まとめ	講義のまとめ	2	講義	
合計			30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験、平常点(学習態度、出席状況、提出物の内容)により総合的に評価する。

評価割合:筆記試験70%、平常点30%

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に参考書等に目を通しておくことが望ましい。授業は教科書に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書をして行う。